



医療介護経営の持続可能性を高めるための 情報システムの戦略的運用の研究

地域基盤研究機構 地域基盤研究センター
(HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センター)
特命講師 島川 龍載

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 2213 号室
Tel 082-251-9735 (直通)
E-mail tshimakawa@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： 医療経営学、医療情報学、病院・医療管理学、
医療社会学、医用システム、地域研究
キーワード： 情報システムの戦略的運用、アカウントビリティ、
地域包括ケアシステム、医療介護総合確保推進、
データモデリング、情報セキュリティマネジメント

● 現在の研究について

わが国において、既に減少に転じている生産年齢人口は、2040年には人口減少と高齢化の影響で行政の運営が最も厳しい人口構成に差し掛かると言われています。今後は、健康寿命延伸と医療介護サービスの生産性向上のため、限りある医療介護の経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を効率的に活用するために、医療介護の人材確保や情報共有の促進と合わせて、ヘルスケアデータの管理、活用の在り方が問われています。

現在、ICTの視点からヘルスケア分野の課題解決を行うために、EHR (Electronic Health Record) の全国展開の推進とともに、PHR (Personal Health Record) のサービスモデルの開発と研究、事業が進められていますが、未だ発展途上であります。

これらの背景を受けて、医療介護経営の持続可能性を高めて、ヘルスケア分野の課題解決に貢献するための研究を進めております。

<主な研究内容>

- 1) EHR 及び PHR の普及に向けた調査研究
- 2) 医療介護施設の情報システムの戦略的運用に関する研究
- 3) ヘルスケアのデータモデリングに関する研究
- 4) 情報セキュリティマネジメントに関する研究

● 今後進めていきたい研究について

情報は、発信側と受信側の間で、専門性が高い内容（医学知識等）になると、「情報の非対称性」

が発生しやすくなります。発信側は、その情報に対する責任（アカウントビリティ）を果たすために、受信側が理解し、納得できる説明が必要になると考えられます。これらの観点から、ヘルスケア分野での様々な経営課題を解決し、より良い仕組みを地域に普及（参加と継続利用）させるための研究を進めていく所存です。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

私が所属する HBMS 地域医療経営プロジェクト研究センターでは、医療介護総合確保推進のためのマネジメント人材養成とヘルスケア分野の課題を経営の視点で解決を図るための研究を行っています。これまで、当センターでは、県内自治体や医療介護関係者に向けた医療政策及び医療経営に関する研究セミナーを開催してきました。

今後もヘルスケア分野に関して、ビジネスとマネジメントの視点から、社会人向けのリカレント教育を通じて、地域包括ケアシステムの担い手となる人材養成に努めたいと考えております。

また、ヘルスケア分野が抱える課題に対して、医療政策及び医療経営の観点から、シンクタンクとしての機能を果たし、広島県の地域活性化に積極的に貢献していけるように活動を進めてまいります。

● これまでの連携実績

これまでは、地域の中核病院のスタッフとして、医療情報の専門的な視座から、医療の経営や質向上のための研究や情報発信（学会発表や講演、執筆投稿等）を積極的に行ってきました。

今後も医療現場の運用の視点を大切にし、ヘルスケアに関する研究と実践を進めていきます。